

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.63

2010.11.5

発行：平和憲法・9条をまもる  
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

## 冬の兵士証言集会

# 「伝える」というもう一つの戦い！反戦イラク帰還兵が証言



ジェフリー・ミラード氏

“冬の兵士”と称する反戦イラク帰還兵の証言集会が10月9日、盛岡市と北上市の2か所で開催し、盛岡市で300人、北上市で200人が参加しました。証言したのは、I V A W（反戦イラク帰還兵の会）の会長で、米軍には9年間勤務、うち13ヶ月はイラクを経験した元兵士のジェフリー・ミラード氏と、事務局長のホゼ・バスケス氏の二人。米国は常に「いいやつ」だと信じ、軍隊を全うしたいと思っていたジェフリー氏。しかし9・11をきっかけに学ば学ばほど「いいやつだった」歴史がないことに気付いたと言います。

そんな、ジェフリー氏自身も、自分の無線傍受が平和的なイラク人のデモ隊175人を殺すきっかけになり、大きく心を痛めたと話し、こういった証言集会を開くたびに、眠れない夜が続くと話しました。質問の際には、175人を間違えて殺しても処罰はないのか？と会場から質問が出ましたが、『「交戦規則」の範囲内なので合法だった』の答えにため息がもれました。

彼らの証言集会の大きな目的は、政府説明のウソに反論するため。イラクで行われている残虐な行為は、一部のたちの悪い兵士が起こすことでも、偶発的な事故でも何でもなく、間違いなく政府や軍の命令だったと訴えるためなのです。政府のウソはまだあります。会場が一番どよめいたのは、劣化ウランについて、シリアルと同じように食べてもいらい無害だという政府の公式発表。また、オバマはイラクから戦闘部隊を撤退させたが、それは単なる商標変更。兵士をトレーナーやアドバイザーと呼ぶだけで、今までと同じようにパトロールをさせ、空爆も要請すると言います。なんとというペテン。

ホゼ氏は、9条のある日本が米国のような「軍事産業複合体」というモンスターを作らせてはならないと訴え、私たちに平和のためまだまだやるべきことがあると教えてくれました。また、会場からの質問で「経済的理由から自衛隊への入隊を考えている」と言う高校生に、「除隊後、どんな目に遭うか考えて。入隊前にあらゆる人に就職について相談することが大切だ」と答えました。



ホゼ・バスケス氏



参加者からは「戦争に参加するということは、直接武器を持って相手を殺すということだけでなく、間接的にでも人を殺して、自分の心を殺してしまうということがよくわかりました」「平和憲法9条を持ちながら、なかなかその通りにならない危うい日本の現状に半ばあきらめかけている自分に勇気をいただいた気がします」などの感想が寄せられました。

また、会場で集めたI V A Wへのカンパは約11万円になりました。

今月の署名行動

11月は、9日(水)12:00~12:45に「岩手アーケード入口」にて行います。是非参加ください！

# 9条をまもる岩手の会 発足6周年学習・活動交流会

## 地域に根ざした活動を！

10月9日、冬の兵士証言集会のあとに、9条をまもる岩手の会のミニ学習・活動交流会が行われました。

ミニ学習では憲法改悪阻止岩手県各界連絡会議議長の沼田稔さんから「憲法九条をめぐる情勢」を学習、軍事同盟の減少や外国軍事基地も縮小していることや、国連を中心として軍事ではない平和支援が必要なこと、九条をもった国として世界的平和を実現するために一緒に頑張りましょうと話がありました。

その後は3つの9条の会から活動報告がありました。とうわ九条の会の小川さんは、東和総合支所の部屋を借りる関係で、事務員の方とできるだけ関わって地域ぐるみで企画や学習会に取り組むようにしていると述べました。

矢巾九条の会の佐藤さんは、8月6日に開催した「ピース in 矢巾 夢・まつり」について、今回地元の徳田小学校の火災について関係者による座談会を企画したことで、地域に根ざした活動として多くの方に関わってもらったり、話題にしてもらうことができたと報告しました。

中津川九条をまもる会の中村さんは、署名が苦手な会員は九条布ブローチなどのマスコット作りに参加することで九条をまもろうという思いを伝えていることや、今年はNP T再検討会議に向けて署名活動やタペストリー作りに取り組んだことを話しました。

会場からは、矢巾の会の発表について、当時その現場にいた（生徒だった）と話され、その火事の真相を初めて知ったとの感想や、各会における財政の悩みや学習会の講師の選定などどのようにしているか質問が出され、参加している九条の会のみなさんから、カンパを集めている、フリーマーケットで集める、会費制にしているなどの発言があり、講師については9条の会に紹介してもらっている等、多くの交流ができました。



### 📢 いまひとつの「執拗さ」、衆院比例定数の削減！

菅政権下でいまひとつ執拗に取り組まれているのは、「衆院比例定数の削減」です。報道などによると次のことがわかります。

- ① 衆院比例定数削減で議席数が480（比例180）から400（比例100）になること。
- ② 2009年総選挙での各党の得票からの推計では、民主党が議席数で308から274、占有率は64.2%から68.5%となります。また、自民党が議席数で119から94、占有率で24.8%から23.5%に、共産党が議席数で9から4（比例4）、占有率で1.9%から1.0%に、社民党が議席数で7から3（小選挙区3）、占有率で1.5%から0.8%となります。実に民主党が単独で3分の2以上の議席占有率を占め、単独で衆院での再議決が可能となること。
- ③ 日本国憲法を擁護し・生かす政党の比重が低下すること。

「参院選惨敗」にも関わらず、菅政権は「年内に党方針のまとめ」などと取り組んでいます。この「執拗さ」をしっかりとらえて、9条の会はこの「削減反対」の活動もする必要があると思います。共産党・社民党以外にも「比例削減反対」の声が広がる状況下で、アピールをたくさん発することなどが求められるのではないのでしょうか。

（事務局）